

市民公開講座

広がる生命科学の世界

－ からだの形作りから病気の克服まで －

12月11日(土) 15:00～17:00

東京大学 安田講堂(東京都文京区本郷7-3-1)



大会長

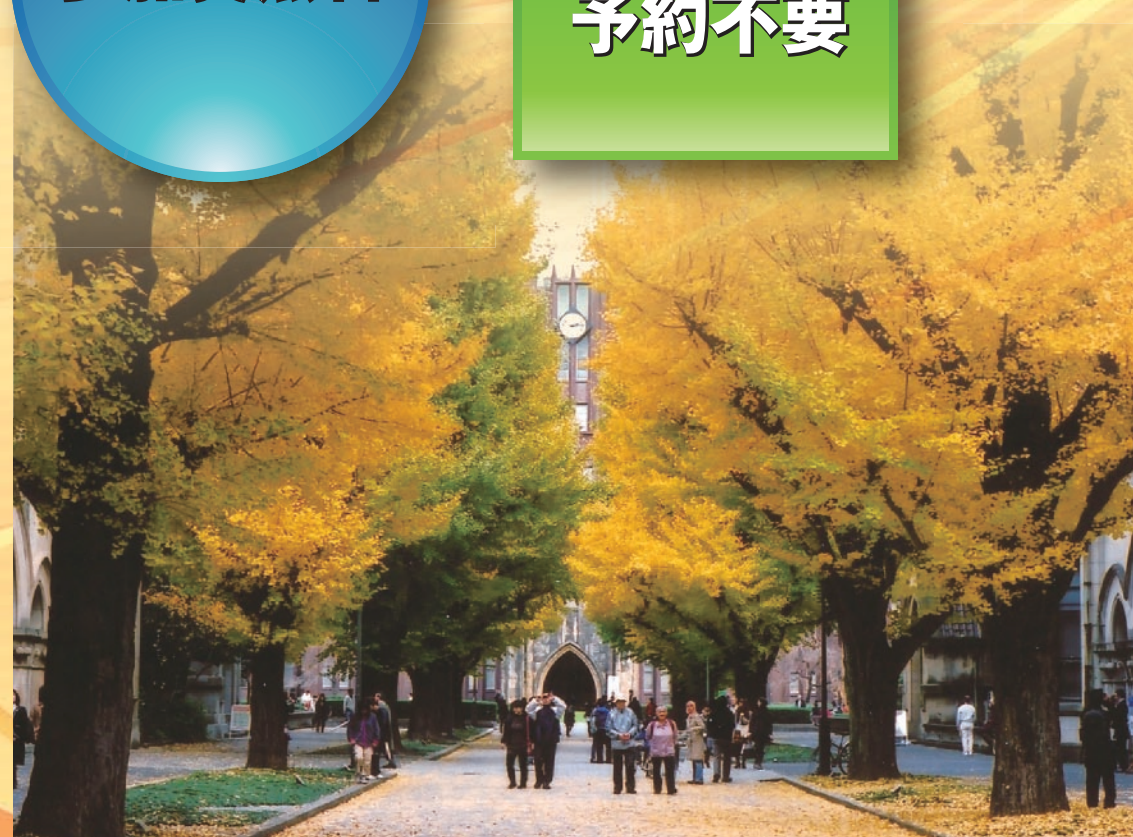
第33回 日本分子生物学会年会 年会長 谷口 維紹(東京大学大学院医学系研究科)

第83回 日本生化学会大会 会頭 田中 啓二(東京都臨床医学総合研究所)

私たちのからだは多彩な機能を持った多くの細胞からできています。一つ一つの細胞は独自の機能を持ち、相互に作用し合いながら私たちのからだを形作っています。近年大きく広がって来た生命科学は、こうした私たちのからだを形作る仕組みやそれを健康に保つメカニズムを少しずつ解き明かしつつあります。ここではからだの形作りに関わる細胞の働きについて紹介し、細胞の機能に異常が生じることによって起こる様々な疾患をどのように克服するかについて考えていきたいと思います。

参加費無料

事前参加
予約不要



1 どんどん入れ替わっている私たちの体 － 新鮮さを保つ秘密 －

水島 昇(東京医科歯科大学医歯学総合研究科)



2 小さな生き物から学ぶ － からだの形づくりと病気のしくみ －

倉永 英里奈(東京大学大学院薬学系研究科)



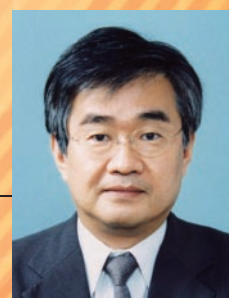
3 「性差の不思議:生殖器の形成から病気まで」

山田 源(熊本大学発生医学研究所)



4 「がん細胞とこれを取り巻く細胞 － 新しいがん治療の試み」

宮園 浩平(東京大学大学院医学系研究科)



5 パネルディスカッション

司会: 膳場 貴子
(TBS「News 23 X」キャスター)



<http://www.aeplan.co.jp/bmb2010/>